

(様式2)

平成14年度 次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業
実施報告書

1 学校名

土岐市立濃南中学校

2 実施内容

研究課題

地域素材のデータ収集と資料化をどうすすめるか

実施時期

第2学期

実施にあたって

地域素材のデータベース化に向けて、授業作りとも関わって、実践をすすめていった。そこで、以下の例について、実践を報告する。

実践 社会科・地理分野(1年生)

地域素材資料提示...教師の教材資料作成例

実践 選択・社会科(3年生)

プレゼンテーションソフトを使った地域紹介

実践

実践 ...単元『身近な地域の調査』

これは、身近な地域を素材として、調査活動をすすめるという単元である。そのためどんな地域資料を準備しておくのかがポイントになる。

この第4時に地域の地図の読解をするという授業を仕組んだ。この授業のねらいは、等高線、地図記号、土地利用を地図から読み取り、地域の特徴をつかむことである。具体的には、江戸時代の街道(中馬街道)が等高線に沿っていることを理解したり、地図から濃南地域が山地であり、集落周辺に水田が広がっていることなど、土地利用から地域の特徴を探ることで、身近な地域の調査活動につなげていくものである。

この授業で作業学習をするために、濃南中学校周辺地域の地図をパソコンに入力して「ペイント」を使って、河川および中馬街道に着色したものに表題を付け、全員にプリントして提示した。

この地図を使って、昔の街道が等高線に沿って開かれているということをとらえさせた。また、水田を生徒に色鉛筆で着色させることで、学校付近の水田の分布をとらえさせ、濃南地区の土地利用をつかませることをした。

実践 ...単元『地域を紹介しよう』

学校のすぐ横を江戸時代の街道(中馬街道)が通っている。この街道を紹介するものを、プレゼンテーションソフト(PowerPoint)でつくっていくということにした。題字を工夫したり、絵をつけたり、デジタルカメラで撮影した映像を取り込ん

だりするなどして取り組んだ。

デジタルカメラで撮影した画像は、先生機にコンパクトフラッシュを読み取る機器がないのでそこで読み取って、生徒機に送信してやることができるソフト（WinBird）で、送られた画像を自分で加工して、使うのである。

3 成果と課題

1)実践

- ・中馬街道をあらかじめ彩色した地図を準備したことで、どんな所を街道が通っているか、読み取ることができた。現在の国道は、直線であり、中馬街道は、地形に沿って曲線になっていることである。
ただし、この授業では直接「なぜ中馬街道は曲がりくねっているのか」と問いかけたので、生徒に課題意識を持たせるためには、まず中馬街道の様子をとらえさせることにより、生徒から課題が出るのではないかという指摘を受けた。
- ・地図を読み取る学習では、その情報量の多さから、必要なことを読み取れない生徒もいる。あるいは、作業学習に時間がかかるという点もある。できれば、授業のねらいに合う地図を提示したいが、そうすると、教師の側で地図を作成する必要も出てくる。

2)実践

- ・「パワーポイント」は、昨年度の技術科授業で取り組んでいるので、どの生徒も操作方法は身についていた。
- ・画像はデジタルカメラで生徒自身が撮影をしたが、うまくできていた。
- ・「中馬街道」を取材しようと思うと、1時間の授業の中では収まらないことになる。
今回は、学校周辺に限定したため限られた取材となった。
- ・2ページ、3ページと進んでいくと、うまくまとめることができなくて、紹介する内容が中途半端になってしまった。

4 今後の方向

- ・これらの2学期の実践によって、地域素材のデータ収集と資料化が進んだ。今後は、地域素材のデータベース化に向けてこれらの資料をHTML形式で保存し、活用していけるようにしたい。
- ・総合的な学習の時間として「中馬の時間」を設定しているが、後期に入って調べ学習を身に付けるということで、各自テーマ追究を実施している。その際、中馬街道については、インターネット上に情報がほとんどない。また、図書資料があるが、なかなか読みこなせないでいる。
そこで、テーマ追究で調べたことをパソコンに入力させたり、必要な情報を教師があらかじめパソコンに入力しておくことによって、ほしい情報をパソコンで調べることができるようにしていきたい。そのためには、実践のようにパワーポイントの活用が考えられる。
- ・さらには、デジタル映像の利用も検討したい。